

デッカー少將祖国へ

大同二十七日放課後先生の招待により、デッカーラ博士一行が来校された。午後三時十五分講堂にて飲食会が開かれた。始めペレティ先生指導の英語の校歌の合唱があり、次いで生徒代表、高一A 連載君による流暢な英語の感謝の辞があった。その中で濱藤君は「この講堂も理科校舎もみな閣下の御援助によつて出来、本校の *Scholar Spirit* というのもそこには生まれたものです。私たちには固くの好意に対して、その責任の大いなる事を感じ、その好意を無にしないよう努力するつもりです。」と力強く宣言した。次に父兄代表渡辺栄光会会長による感謝の辞があり、後校長先生は壇上に立ち、その挨拶の中で我々生徒に少將の好意を無にしないように今まで通りしつかりやつて欲しいと述べられた。

...and the other side of the world.

学芸会

本校の *Spirit* といふものもぞこに生まれたものです。私たちは園下の好意に対して、その責任の大いなる事を感じ、その好意を無にしないよう努めます（つもりです）」と力強く宣言した。次に父兄代表渡辺栄光会会長によ

なりません。又父母の方々
申し上げます。あなた方が
いお金を出して御子息をう
学校に入学させることは無
な事ではないと思つており
ます。私の後仕としては、私
同じような者を方をしてい
人で本業の中でも有能な人
なるのであります。ですから
今まで通り、あるいは今まで
よりもっともつとよくな
と思つております」

やがて横荷もすんだ埠陸海
軍西里条約の合費とともに船
は荷田をなりしながら港を出
ていつた。

相次によりよう組のテス徒な及び君の白にをも特に治謹

本校からは院生フオルスター
一神父様以下數名の神学生及

高一A—E君の「古きもの」

前者が校長により発表され、各々賞品を授与された。優勝

天気に恵まれて第四回創立記念日が開催された。庄列より遅れること十五分にして高一B 群の開会の辞にはじまり、つづいて中学校一年全体のスピーリングコンテストがヘルツク先生出題のもとに行なわれた。その後中学校一年の数学及び国語のコンテストがありついで行なわれた。思ひぬ所に國語が時間など十五分ちようかして十二時十五分第一部が終り、晝食と

立った。第二部は一時十五分よりまず一年生の合唱がつづいて二年生の合唱があり、そ

相次ぎにようより組のテス徒な及び君の白にをも特に治謹さん

A-30

前者が校長により発表され、各々賞品を授与された。優勝

る放送刷「黒」があり、今度は日本語によるスピーチコンテストが行われた。始めに三B 君の「学生のスピーチ」三A 君の「学校について」

B. 1君の「自由と規則」が相次いで行われ、日本語の首に「父兄は英語のコンテストよりも熱心に聞いておられたようである。その後、二年C組の○君によるクイズコンテストがあり、出席席には生徒を始め、草野、熊野先生及び特に父兄代表として君のお母さん、高一八の一、君のお父さんが出席され、紅白に分れて始められ、七対六をもって白組の勝となつた。特に目立つことは熊野先生の活躍振り、又、○君のお母さんの当て得なかつたトンネルの数をお子さんへ、問題がズベリと当たる事であった。小懸五分の後番々、英語劇「ナイリアム・テル」が三B組で始める数名で演ぜられた。続いて熊野先生歌舞弟子十一名によつて、マットワーク及び組立運動があつた、さすが体操の先生だけあつて、熊野先生の妙技振りは實に佳しい。組立運動では「自由の女神」「ロンドンブリッジ」があざやかであつた。

前者が校長により発表され、
各々賞品を授与された。優勝

四

八

行つた。ウルフ先生は、「今日の雨はねずみの小便だよ」と云つて皆を笑わせた。

ん筋はもうもじやむしやはじめ

ていた。「出番」「それこの

前の菊園に出ていたシマモ先生の

のトリの音を始めたような声だ。

よいよ本格的な山道に入つ

た、もう少し大森山だといふ

と「いいえ、日本語はとても難

かっただ。

五日二十七日、箱根へ遠足に

行つた。午前中はまい天気で、

六時二十八分透子発、後藤君は

九時少し前であつた。歩き出し

てから早雲山頂で一休み、大森

谷へ出て、箱根の西麓をパチリ、

湖尻から船に乗りつて箱根町へ

上陸、そして元箱根へ行く途中

の恩賜公園で、寺慶しかつた書

食会すませ、本尾先生の司会で

ペレツティ先生の十八番「チュ

ンバイバイ」、ナエルマーク先

生の趣々な似顔、猿先生の童山

で腰がへつこ時の「ガーフガ

ン」。やはり栄光橋とは湖の二

時にようとう通に迷つてしまつ

た。森本先生や鶴村先生などは

おは行つてしまつたので呼び返

したが、返事がなかつた。おり返

よく山に住む人が通つたのでた

ずねると別の道を教えてくれた。

大森山が西の前に見える高台に

出たり大森山の頂上に森本先生

などが手をみついた。頂上に

つくと、校長先生と源井先生が手

作の「はらがすいた」の歌を歌

ひつた。

こうした後皆おりつて井田

を食べてこられたらどうじうぼつり

ぱつりと降つて來る。ねずみの

山便りの道はなくなりた。

「出来しますよー」と角の枝

の後をうけて、中三・高一の十

いじ。佛りの山道は大変すべつ

た。四度かるんだら名入もいた。

先生は長い息に出になるとか

こんな迷惑はめつさになつとが

じようだんさにつけたが、僕

達にとつてはむつとも面白くひ

かった。

◇ 中 一 年

五日二十七日、箱根へ遠足に

行つた。

始、恩賜内は草野先生が当つて

了したが、名前のかいが

九時少し前であつた。歩き出し

てから早雲山頂で一休み、大森

谷へ出て、箱根の西麓をパチリ、

湖尻から船に乗りつて箱根町へ

上陸、そして元箱根へ行く途中

の恩賜公園で、寺慶しかつた書

食会すませ、本尾先生の司会で

ペレツティ先生の十八番「チュ

ンバイバイ」、ナエルマーク先

生の趣々な似顔、猿先生の童山

で腰がへつこ時の「ガーフガ

ン」。やはり栄光橋とは湖の二

時にようとう通に迷つてしまつ

た。森本先生や鶴村先生などは

おは行つてしまつたので呼び返

したが、返事がなかつた。おり返

よく山に住む人が通つたのでた

ずねると別の道を教えてくれた。

大森山が西の前に見える高台に

出たり大森山の頂上に森本先生

などが手をみついた。頂上に

つくと、校長先生と源井先生が手

作の「はらがすいた」の歌を歌

ひつた。

こうした後皆おりつて井田

を食べてこられたらどうじうぼつり

ぱつりと降つて來る。ねずみの

山便りの道はなくなりた。

「出来しますよー」と角の枝

の後をうけて、中三・高一の十

いじ。佛りの山道は大変すべつ

た。四度かるんだら名入もいた。

先生は長い息に出になるとか

こんな迷惑はめつさになつとが

じようだんさにつけたが、僕

達にとつてはむつとも面白くひ

いた。

「出来しますよー」と角の枝

の後をうけて、中三・高一の十

いじ。佛りの山道は大変すべつ

た。四度かるんだら名入もいた。

先生は長い息に出になるとか

こんな迷惑はめつさになつとが

じようだんさにつけたが、僕

コースをとつた。

一 中 二 年

二年は八時ころから登山を開始

した。恩賜内は草野先生が当つて

了したが、名前のかいが

九時少し前であつた。歩き出し

てから早雲山頂で一休み、大森

谷へ出て、箱根の西麓をパチリ、

湖尻から船に乗りつて箱根町へ

上陸、そして元箱根へ行く途中

の恩賜公園で、寺慶しかつた書

食会すませ、本尾先生の司会で

ペレツティ先生の十八番「チュ

ンバイバイ」、ナエルマーク先

生の趣々な似顔、猿先生の童山

で腰がへつこ時の「ガーフガ

ン」。やはり栄光橋とは湖の二

時にようとう通に迷つてしまつ

た。森本先生や鶴村先生などは

おは行つてしまつたので呼び返

したが、返事がなかつた。おり返

よく山に住む人が通つたのでた

ずねると別の道を教えてくれた。

大森山が西の前に見える高台に

出たり大森山の頂上に森本先生

などが手をみついた。頂上に

つくと、校長先生と源井先生が手

作の「はらがすいた」の歌を歌

ひつた。

こうした後皆おりつて井田

を食べてこられたらどうじうぼつり

ぱつりと降つて來る。ねずみの

山便りの道はなくなりた。

「出来しますよー」と角の枝

の後をうけて、中三・高一の十

いじ。佛りの山道は大変すべつ

た。四度かるんだら名入もいた。

先生は長い息に出になるとか

こんな迷惑はめつさになつとが

じようだんさにつけたが、僕

達にとつてはむつとも面白くひ

いた。

「出来しますよー」と角の枝

の後をうけて、中三・高一の十

いじ。佛りの山道は大変すべつ

た。四度かるんだら名入もいた。

先生は長い息に出になるとか

こんな迷惑はめつさになつとが

じようだんさにつけたが、僕

全員に警戒警報が発令され、萬

にまとまつて行動するよう指令

された。振りは沢特有のう暗

い鬼氣を帯びた山道を、あつ七

行つたりこづちへ行つたり迷

いながら、頂上近くで三年生と

合流した。

頂上は木一本もない、なだら

かな傾斜をもつ草原で、最後二

回のサタン会を開き、三年生と

と彼曰く「やつぱりあれが良か

つなんだ。」

はいいか」には一同連モどりと

寺があるはずだがないか、寺

はないか」と「いいえ、日本語はとても難

かしい、私の今まで習った言葉

です」と外人の先生はやはり日本語が苦手と見えた。

スポート朗報

二、十人以下乗る二に可認

による。)

三、範囲は船の横港内(人数

五、乗り降りに注意すること)

六、舟中より水中に入ること禁

止

ます。

皆が待ちわびていて第一運動

場のバソフネットや掌汗練習台

、ピンポン台等がこの迎完成した。

パンクネットは、鋼鐵製のス

天なもので、高さは五メートルは

あります。

ハメ位の大きさである。色は青

い。

灰皿にめりつれていて、油煙を

吸い

た。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。